

令和7年度秋田県放課後児童支援員等認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります。)

<県央会場>

科目 ⑭安全対策・緊急時対応

- ◆ 本研修を通しての重点事項はやはり命を守ることが何より大事であるということです。分かってはいるものの職員同士の共通認識、情報共有が現場では非常に重要になります。普段、何気なく過ごしているからこそ、ヒヤリハットの場面のマニュアル作成や意識付けが大事で、職員間（パート含む）の風通しの良い雰囲気作りも大切なことと強く感じました。人の命を預かる側として横のつながり、人間関係も大切なことと改めて感じました。
- ◆ 放課後児童クラブにおける育成支援は、子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整え、安全面に配慮しながら子どもが自ら危険を回避できるようにしていくことであり、この“自ら”というところを育てていくことができるよう、事故防止について児童とルール作りをしたり、安全指導をしたりすることが重要であると学んだ。
「ちょ、きん、さ」の法則や三つの眼を心に留め、日々を振り返りながら安全に努めていきたい。
- ◆ 放課後児童クラブ運営指針は毎年改正されているので、変更点や追加されたことなどを職員で共有していかなければならないと思いました。館内、館外を毎日点検し、少しでも違和感を覚えた点は話し合い、改善していきたい。月・水・金は事故が多いという話も、子どもたちの普段の生活（学校やスポーツ少年団など）と放課後の姿はつながっていると感じました。子どもと生活を共にする中で、子どもを丁寧に見ていくこと、気が付いたり気になったりすることは他の職員の方と共有すること、保護者に丁寧に伝えることを心掛けたいです。日常の中に潜む事故をゼロにはできないが少なくする、起こってしまった際は被害を最小限にできるよう、安全管理と安全教育につとめていきたい。
- ◆ 安全対策について、子どもたちが安全に過ごせるように日頃から危険を確認するようにし、ヒヤリハットに気付けるようにしたいと改めて学んだ。対策していけることは多くあるため様々なことに取り組んでいきたい。緊急時対応については、緊急時に備えて危機管理、健康管理、不審者侵入対策、災害対策をそれぞれ考えて決めておく必要があると知った。学んだことを活かして対応していきたい。
- ◆ 安全対策などを学び、常に子どもの安全を確保しておかなければならないため、マニュアル作りや日々の点検の大切さを改めて感じた。マニュアルを作成していても瞬時に対応しなければいけない場合は、フローチャートがあることで、すぐ確認することができるのと知りとても参考になった。また、講話の中で「しなければならない」より「自ら進んでやりたい」になるように工夫していると聞き、印象に残った。子ども中心の活動にするためにも、どんなことでも自らやりたいと思える活動になるように工夫したいと思う。